



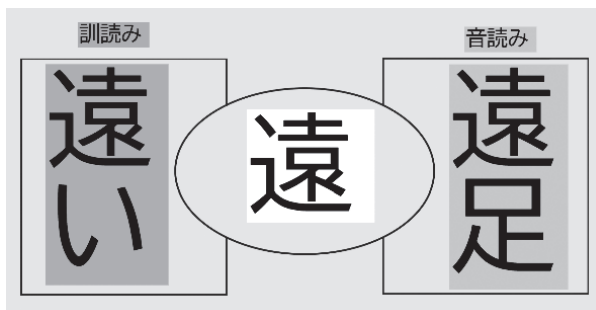
POINT 1
知・技

語彙力の定着や漢字の習得を図るための授業実践

漢字の定着はどの学年になっても大切である
と考える。子どもたちが学習した漢字を身に付
けるためには、既習漢字を活用する機会を多く
設けることが重要だろう。そこで授業の中で、
漢字を読むことや漢字を使って文章を書くこと
に対しての工夫を行うことで、子どもたちの意
欲を高め、定着を図りたい。今回は、その実践
例を紹介する。

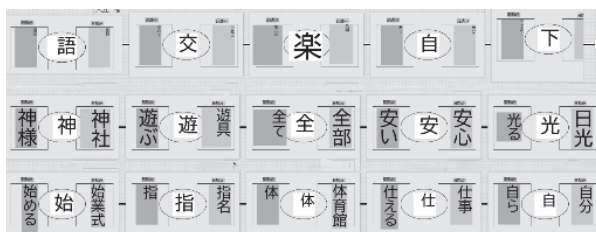
1 言葉集め

- (1) 漢字を選ぶ。
- (2) 音読みと訓読みを書く。



2 考えの「見える化」

- (1) みんなの考えを知る。
- (2) 自分が使う漢字を選択する。

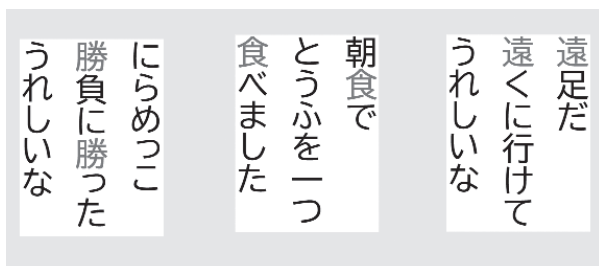


【実際に子どもが作った音読み・訓読みの例】

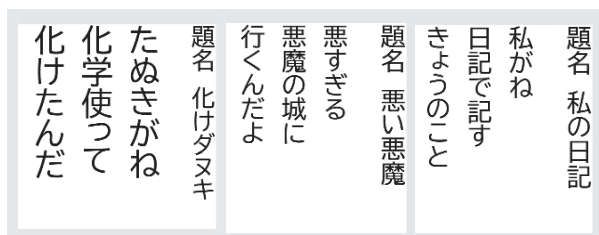
交流することで、自分で考え付かなかった漢
字に触れ、文章を書く際の手立てとなり得る。

3 文章を書く

- (1) 自分の選んだ漢字を用いて、音読みと訓
読みを使った文章を書く。



漢字を使った文章を書く学習を通して、漢字
単体を理解するのではなく、漢字の使い方を捉
えることで、理解も深まりやすくなると思われ
る。「読める」や「書ける」の先にある『使い
こなす』状態を目指すには、単元の中にアウト
プットの場を意図的にデザインすることが不可
欠であると考え。この『生きた漢字学習』の
積み重ねこそが、子どもたちの思考を支え、自
ら学びを広げていく原動力になるのではないだ
ろうか。正しい知識の習得以上に、言葉を紡ぐ
ための思考力を育みたい。



【実際に子どもが作った短文の例】

文章を書く学習を通して、漢字を単に正しく
書くだけでなく、文脈に応じて最適な読みや語
彙を選択しようと思いを巡らせ、書き表す姿が
見られるようになった。

書く意欲を引き出すステップアップ指導法

幕別町立まくべつ学園 教諭 齋藤 ありさ



小学校3学年

小学校5学年

中学校1学年

POINT 2

思・判・表

文章を書くための手立てを工夫する授業実践

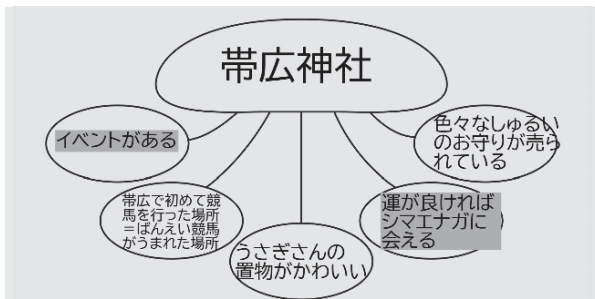
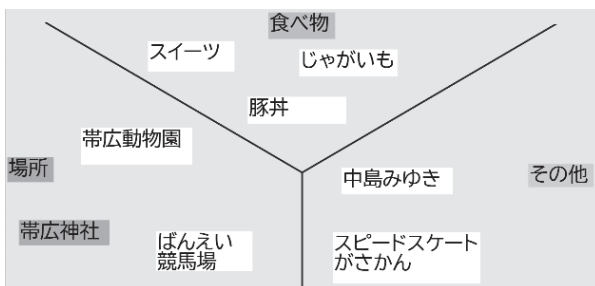
低学年に比べて、書く量や質の向上が求められていく一方で、子どもたちの苦手意識や書くことに対するマイナスイメージが増えている傾向にあると考える。現に、学級の中でも「何をどう書けばよいのが分からない」「書くテーマが見付からない」など、書くことに消極的な発言が多く見受けられる。その原因として、文章記述の基礎・基本の定着の不十分さ、日常的に書く習慣が身に付いていないことなどが考えられる。そこで、文章を書く意欲を育てるための工夫について考えていきたい。

1 「ゴール」を提示

☆この学習のゴール☆

町のよいところをしょうかいする文章を書いて、読み合おう。
たがいの文章のよい点を伝え合おう。

2 シンキングツールを使った思考の整理



3 書き方の手順の提示

はじめ・・・場所、時間などのかんたんなせつめい

【しょうかいするもの】
☆帯広神社

【せつめい】
・1910年にたてられたれきしある神社
・帯広駅から車で約8分、帯広はくよう高校のすぐ近く

中・・・しょうかいしたい理由(クラゲチャートで考えたことから)

【しょうかいしたい理由】
①楽しいイベントがある
・とてもきれいな花手水
→実際に行ったときの様子、写真があれば

【しょうかいしたい理由】
②運が良ければシマエナガに会える
・冬の妖精シマエナガが遊びにやってくる神社と呼ばれている
→秋から春にかけて運がよければ見ることができる、シマエナガをモチーフにした「シマエナガみくじ」が話題を呼び、今では国内外から多くの人がおとずれる人気スポット

おわり・・・まとめ、よびかけたいこと

・帯広神社に行ったことがない人は、ぜひ行ってほしい。
・特に花手水がやっているゴールデンウィークやお盆の時期、シマエナガに会えそうな秋から春がおすすめ。

「書けない」から「書きたくない」と考えている子どもが多く、書き方の基本や表現の方法が身に付いていない子どもにとっては、書きたい内容があるのに書けないという状況に陥ることもある。そこで、まずは子どもたちに「型」を提示した。それを知った上で、子どもの自由な発想が加わることによって、表現が生き生きと豊かになった。書くことへの心理的障壁も下がり、進んで記述しようとする実践的效果を確認できた。

シマエナガがやってくる 帯広神社

ほかたちがしょうかいしたいのは、帯広神社です。帯広神社は、1910年に建てられた歴史ある神社です。場所は、帯広駅から車で約8分で帯広はくよう高校のすぐ近くにあります。

この帯広神社をしょうかいしたい理由は、二つあります。一つは、楽しいイベントがたくさんあるからです。特に、「花手水」という色とりどりの花を浮かべてかざったものがとてもきれいです。家族と一緒に見に行きましたが、きれいな花だけでなくカラフルなビー玉もかざられていて、子供だけでなく大人でも感動する美しさでした。「じゃらん」の行ってみたい花手水ランキングで全国たくさんの神社がある中、6位にランクインするなど観光客にも人気なので、みなさんにもおすすめします。

もう一つの理由は、運が良ければシマエナガに会えるからです。シマエナガは真っ白な體とふわふわした丸い体がとてもかわいい「雪の妖精」とよばれる北海道の鳥です。そんなシマエナガが、秋から春にかけて帯広神社にやってくるのがあり、運が良ければそのかわいらしい姿を見ることができるのです。まだ見つけたことはありませんが、行くたびにシマエナガに会えるのではないかとワクワクします。「シマエナガおみくじ」などシマエナガにかんするものがたくさんあるのもおすすめです。

帯広神社に行ったことがない人は、ぜひ一度、行ってください。花手水がやっているゴールデンウィークやお盆の時期、シマエナガに会えそうな秋から春がおすすめです。

【実際に子どもが作った文章の例】